

福島第一原子力発電所 3月16日の地震によるタンクの位置ずれ等発生状況の調査結果について

< 参 考 資 料 >
2022年4月4日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 2022年3月16日に発生した地震によるタンクの位置ずれ等について、中低濃度タンク1,074基のうち160基において位置ずれがあることを確認しました。なお、タンクについては、耐震性確保の観点から基礎に固定せずに平置きしており、一定以上の力（揺れ）が加わった際にはタンクが位置ずれすることにより力を逃し、転倒や損傷を防ぐように設計しています。
- 位置ずれが確認されたタンク160基について、3月18日から連結管（※1）の状況を確認しており、調査対象の連結管256本のうち6本について、メーカー推奨変位値（※2）を超えていることを確認しました。引き続き、連結管256本について、保温材を取り外す等の対応を行いながら、確認を実施してまいります。
　　<以上、3月22日までにお知らせ済>
- その後も調査対象の連結管256本について、継続的に詳細確認を行った結果、4月1日までに新たに11本（合計17本）において、メーカー推奨変位値を超えていることを確認しました。
- なお、連結管にメーカー推奨変位値を超える変位が確認されたものの、連結管については、材料の強度等に安全上の裕度が加味されており、タンクに接続している移送配管については、可とう性（しなやかにたわむ性質）の高いポリエチレン管を採用しており、漏えいが無いことを確認しています。また、連結管については、水の移送等に使用している一部のタンクに接続されている連結管を除き全閉にしており、連結管から水が漏えいした場合においても、タンクに貯留している水は漏えいしない運用とされていること、および連結管から漏えいした水はタンク堰内に留まる設計となっています。
- 対策として、メーカー推奨変位値を超えている連結管について、水抜きおよび取り外しを行うとともに、連結管を取り外した箇所に閉止栓を設置してまいります。
- 引き続き、作業員の安全を最優先に、対策を行うとともに、定期的に点検を行ってまいります。

※1 連結管：タンクとタンクの間に接続されている配管

※2 メーカー推奨変位値：メーカーとして連結管の取り替え等を推奨する値。なお、メーカー推奨変位値には、材料の強度等に安全上の裕度が加味されている

【参考】 調査結果（中低濃度タンクにおける位置ずれおよび連結管変位）

(赤字:3月22日からの更新箇所)

エリア	タンク			連結管		
	総数 (基)	位置ずれ (基)	位置ずれ最大値 (mm)	調査対象 (本)	メーカ推奨変位値 超え(本)	3月16日の 弁の状態
B	37	6	30	11	1→3	閉
B南	7	7	10	8	0	閉
D	41	8	200	14	2(※2)	閉(※1)
H 1	63	10	45	22	0→1	閉
H 1 東	24	23	120	31	2→8	閉
H 2	44	4	45	9	0	閉
H 3	10	4	40	6	0	閉
H 4 南	51	8	30	14	0	閉
H 4 北	35	24	50	39	0	閉
H 5	32	2	15	3	0	閉
H 6 (I)	11	1	30	3	0	閉
H 8 北	5	1	15	3	0	閉
J 2	42	6	45	10	1→3	閉
J 4	35	5	80	11	0	閉
J 5	35	27	150	42	0	閉
G 6	38	5	25	13	0	閉
K 1 北	12	11	20	13	0	閉
K 4	35	3	30	4	0	閉
サンプルタンク	10	5	80	-	-	-
その他	507	0	-	-	-	-
合計	1,074	160	-	256	6→17	-

※1 連結運用中の2本を除く(当該連結管2本はタンク3基と連結しているが、連結管2本とタンク3基を合わせた量は、堰内容量未満である)

※2 弁の状態は閉(※1の連結運用中の連結管とは別の連結管)